5N病棟 藤本 春花さん

後輩から

松山市民病院の看護師として勤務し 3年目を迎えました。先輩からのご指 導は毎日勉強の連続です。失敗した ことは励ましていただき、手技について はアドバイスをいただきました。わかりや すく親身になって教えていただける先輩 は、今でも一番に相談できる存在です。

これからも先輩にご教示いただきながら、毎日努力したいと思います。また私も多くのことを後輩に教えていくことができるよう、ひとりの看護師として、専門職として成長していきたいです。



5N病棟 柳原 晴世さん

先輩から

看護技術を指導するにあたり、私自身の手技を見直し、場合によってはマニュアルで再度確認をしました。実際は、夜勤勤務をしながらでは後輩と話せる時間も少なく、進捗状況を把握することがなかなかできませんでした。しかし、反省と今後の目標を立てることにより、明確な目標設定ができ、それを達成するための指導をおこなうことができました。なによりも後輩から相談を受け、頼られることが素直に嬉しく思いました。

今後も共にたくさんのことを学び、一緒に成長したいと思います。

6N病棟 栗田 佑衣さん

後輩から

循環器・呼吸器の病棟勤務になり、初めての業務ばかりで戸惑うことが多くありました。 臨床実習とは違い、常に緊張感のある現場では毎日不安の連続で、知識・技術面の未熟さに悔しい思いもしました。その中で先輩の熱心なご指導のおかげで、できることが少しずつ増えていき嬉しく思いました。

看護師3年目となり私にも後輩ができたので、これまで先輩から教わった看護技術を、後輩にも伝えていきたいです。また、私自身も常に緊張感を持ち、患者さんから信頼される看護師になれるよう努力します。



6N病棟 久保 喜宏さん

先輩から

私は夜勤勤務が多いため、日勤勤務がメインの後輩と接する時間がなかなか作れず、 進行状況の把握が難しいこともありました。そんな私に、師長や同じ病棟のスタッフから 「病棟全員で新入職員を育てよう」という声を掛けていただいたのをきっかけに、みんな で協力して教育・指導をしました。教育体制が整っているので、栗田さんはどんどん力 をつけていきました。

栗田さんから「毎日できる仕事が増えて楽しい。」と言われた時は、一緒に頑張ってよかったと感じました。合わせて、共に学ぶことにより私自身としても貴重な経験になりました。

7S病棟 酒井 愛恵さん

後輩 から

入職した当初は不慣れだったこともあり、患者さんや患者さんの家族の方とうまくコミュニケーションがとれず、戸惑うこともありました。しかし先輩に悩みや相談を聞いていただき、支えられてここまでやってこられたのだと思います。指導してくださった先輩は私の憧れであり、心の支えです。

看護師はとてもやりがいがあり、誇りを持てる仕事だと思います。まだまだ未熟でくじけそうになることもありますが、憧れの先輩を目指し頑張ります。



7S病棟 伊村 真央さん

先針から

今回、後輩のサポートと同時に、病院棟改修や電子カルテの導入なども重なり、慌ただしいスタートになりました。しかし、担当した酒井さんの明るい笑顔と日々の成長をみて、元気をもらい乗り越えることができました。それと同時に、日々指導することにより私自身の看護の基礎を見直すいい機会となり、共に成長できたと感じました。これからも後輩の成長をあたたかく見守っていきたいと思います。